

2015年度 成美市民大学 第1期講座

成美大学では市民の皆様を対象とした公開講座を開催いたします。第1期講座は、「フレッシュな教員が考える地域活性化」をテーマとして新しく赴任した教員の講座を6月、7月に開講します。市民の皆様の生涯学習の推進とともに、なお一層大学を身近に感じていただくことをめざしています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時：7月15日(水) 18～20時

◆会場：成美大学 4号館

参加無料

7 単元

「ユーグレナ（ミドリムシ）による健康効果 —ユーグレナってなあに?—

講 師：大串 美沙 成美大学短期大学部 講師

パラミロン（β-1, 3 グルカン）は、ユーグレナ（ミドリムシ）が独自に持つ細胞内貯蔵多糖であり、機能性食品および薬理栄養への応用が期待されています。これまで、パラミロンにおける生体へのストレス抑制機構に関する実験を行ってまいりました。そこで得た経験を生かし、栄養資源を見出すとともに、環境に考慮した研究を行うことで、地域活性をと考えています。

【講師プロフィール】

環境人間学博士の学位を取得。H27年4月より成美大学短期大学部講師。水溶性ビタミンの摂取量と体内動態量について調査。産業廃棄物から再資源化、機能性食品への応用研究としてパラミロン摂取におけるストレス抑制効果、生活習慣病の食による抑制と機能解析を研究中。



8 単元

「発想を生む発想法について—目的展開—」

講 師：三品 勉 成美大学 教授

【講師プロフィール】

米オクラホマ大学大学院博士課程修了（Ph.D. 経営工学）。秋田県立大学システム科学技術学部教授を経て、平成27年4月より成美大学経営情報学部教授。専門分野は経営工学と経営管理論。現在は経営科学による戦略事業策定と業績評価など研究中。



産業活性化にはイノベーションが有効です。イノベーションは「製品・サービス」や「プロセス」の飛躍を意味しており、その背景に技術革新があります。セミナーでは日本の技術状況と国力との関係を概観し、イノベーションの重要さについて検討します。イノベーションには柔軟な発想が不可欠であり、発想の方法についても考えます。

●申込方法：氏名・連絡先を明記の上、前日までに電話、Fax、Mailにてお申込みください。

●その他：次回講座の詳しい内容や講師の紹介は本学HP（<http://uv.seibi-gakuen.ac.jp>）等に掲載します。

【お申込み・お問い合わせ先】成美大学 地域活性化センター Mail: regional@uv.seibi-gakuen.ac.jp Fax: 0773-24-7170
Tel: 0773-24-7100（受付時間は平日9～17時）